編集後記

信州大学法学論集第16号において，論説が２本，研究ノートが１本，判例研究が１本，研究報告が２本掲載されました。合計６本で民法，民事訴訟法，知的財産法，刑法，刑事訴訟法の分野でした。今後も多くの論考を提出していただき，法学論集が充実することを期待しています。

平成22年９月２日に，信州大学経済学部の栗田晶講師の仲介で，慶應義塾大学大学院法務研究科の北居功教授と慶應義塾大学法学部の武川幸嗣教授を代表とする私的な研究会が信州大学で行なわれました。この研究会に信州大学の教員も参加しました。慶應義塾大学等の若いフレッシュな大学院生を交えた研究会は有意義なものでした。

平成22年９月24日に，南山大学大学院法務研究科の丸山雅夫教授を法律学研究会にお招きして，「少年法の理念と現実―保護主義と厳罰化論」と題する講演が行なわれました。信州大学大学院法曹法務研究科の教員だけでなく，信州大学経済学部の教員も参加した意義深い講演会になりました。信州大学の近くに松本少年刑務所がありますので，少年法の研究が大学院法曹法務研究科の特色になれば良いと考えています。

FD・紀要委員会
角田光隆，神戸美佳